

2023年度 環境経営レポート

対象期間：2023年3月～2024年2月



2024年 4月20日 発行
2024年 月 日 改訂



株式会社 **スイカン**

代表取締役 松本 雅 稔

承認者
社長

1. 事業所の概要

(1) 事業所名 : 株式会社 スイカン 代表者氏名: 代表取締役 松本 雅稔

(2) 所在地 : 本 社 . . . 兵庫県西宮市西宮浜 3 丁目 1 4 番地 3

: 東京支店 . . . 東京都目黒区目黒本町 1 丁目 1 6 - 2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

・ 環境管理責任者: 與那嶺 守光 (最高顧問)

・ 担当者名 : 宇都宮 諒也 (総務部課長)

・ TEL: 0798-22-9185 ・ FAX: 0798-22-5858

(4) 認証登録の範囲

・ 対象事業所 : 本社、東京支店

・ 事業活動 : 給排水衛生設備の点検清掃・維持管理・劣化診断及び改修工事・

24 時間トラブル対応、公園水景設備・プール・河川・

下水道等の点検清掃・維持管理

(5) 事業規模 :

活動規模	単位	2023 年度
売上高	百万円	1,194
従業員	人	本社 34 東京支店 12
床面積	m ²	本社 790.59 東京支店 178.56

(6) 主な環境負荷の状況 :

環境負荷項目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	147,943	141,801	138,649	140,137	120,689
廃棄物排出量(t)	72.1	79.7	64.5	60	61
総排水量(m ³)	1,017	1,052	1,046	1,026	905

環境経営方針

1. 環境理念

当社は社員と社員の家族、そしてそれに繋がる全ての人を幸せにという社是に基づき、持続可能な社会の実現を願います。

また環境関連事業に携わる企業市民として、環境活動を経営の最重要課題のひとつとして位置づけ、この活動を通じて環境負荷の削減を積極的に推進します。

2. 行動指針

当社は給排水衛生設備工事、維持管理等の事業活動を通じて次の項目に取り組めます。

(1) 環境関連法規制等を遵守します。

(2) エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、汚染の予防を行うと共に、エコロジー&エコノミー精神に基づき、企業活動の継続的改善に努めます。

(3) 事業活動全般における環境負荷を削減する為に、次の活動に取り組めます。

① 二酸化炭素排出量の削減（特に車両の燃費の改善、電気）※

② 産業廃棄物排出量の削減※

③ 一般廃棄物排出量の削減

④ 総排水量の削減

⑤ 資源等使用量の削減

⑥ 環境に配慮したサービスの提供

※取組重点項目

(4) 課題とチャンス

3. この環境方針は、全従業員に周知するとともに社会にも公開します。

4. 環境経営システムの継続的改善を図ります。

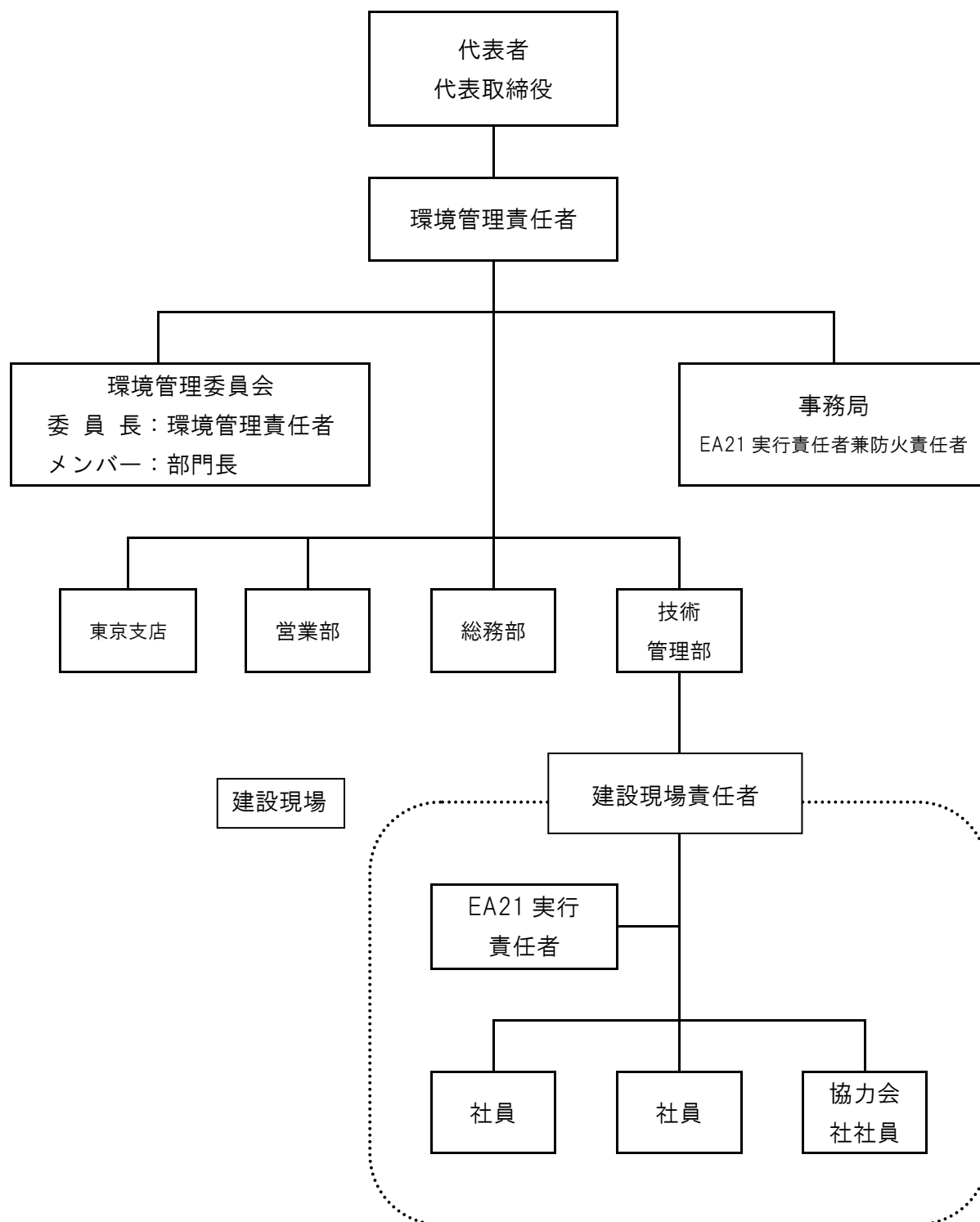
2010年9月5日制定

2022年12月1日改訂

株式会社 スイカン

代表取締役 松本 雅稔

3-1. EA21 環境経営システム実施体制図



3－2. 役割・責任・権限

代表者	・ 環境理念及び環境経営方針の作成 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境経営活動全般の評価と見直し ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築と運用と 代表者への状況報告 ・ 外部からの苦情等の受付と対応及び 結果の記録 ・ 環境経営レポートの作成
環境管理委員会 委 員 長：環境管理責任者 メンバー：部門長	・ 環境経営活動の統率 ・ 意志統一と諸問題の解決 ・ 活動の実行管理と進捗確認票の作成
事務局 （EA21 実行責任者）	・ 環境経営活動関連文書及び記録の素案 作成，管理等
東京支店 営業部 営繕部 技術管理部	・ 環境経営活動の実施と確認 ・ " ・ " ・ "
防火責任者	・ 防火、消火活動の実施とりまとめ ・ 消防設備の点検、管理

4. 環境目標とその実績及び中期目標

当社の主な環境目標と実績は次の通りです。

項目 年度 目標・実績				2020年度	2021年度	2022年度	2023年度			2024年度	2025年度	2026年度	
			目標設定の変更等	2020.3～ 2021.2	2021.3～ 2022.2	2022.3～ 2023.2	2023.3～ 2024.2			2024.3～ 2025.2	2025.3～ 2026.2	2026.3～ 2027.2	
				(12ヵ月)	(12ヵ月)	(12ヵ月)	(12ヵ月)			(12ヵ月)	(12ヵ月)	(12ヵ月)	
			実績	実績	実績	目標	実績	達成率 (%)	達成状況	目標	目標	目標	
CO ₂ 総排出量				121,565	138,649	140,137		120,126					
電力	使用量	kWh	※本社電力の目標については 2019年実績の10%削減	98,625	103,214	104,687	98,840	94,370	105%	○	98,840	98,840	98,840
	削減率 (基準年比)	%	2023年度以降は基準値を 2020年度～2022年度 平均値に変更	9	24	12					10	10	10
	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂		31,362	25,926	33,290	31,014	30,010	103%		31,014	31,014	31,014
ガソリン	自動車燃費	km/l	燃費維持目標9.0km/ℓに変更	9.0	9.6	8.5	9	8	89%	△	9	9	9
	実績ガソリン消費量	L		34,928	36,960	35,412		26,726					
	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂		81,032	85,747	82,156		62,004					
軽油	軽油使用量の把握	h/ℓ	機器稼働時間当たりの燃費維持 目標0.160 (h/ℓ)	0.166	0.181	0.174	0.160	0.159	99%	△	0.160	0.160	0.160
	実績軽油消費量	L		10,947	10,166	9,570		10,896					
	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂		28,243	26,228	24,691		28,112					
上水	上水使用量	m ³	2022年度維持目標145 (m ³) /月 2023年度以降は85(m ³)/月に変更	1,052	1,046	1,026	1,020	905	113%	○	1,020	1,020	1,020
紙資源	コピー用紙	冊	コピー用紙の管理 (活動目標)	100	100	100	100	100	100%	○	100	100	100
廃棄物	産廃の分別の徹底度	%		100	100	100	100	100	100%	○	100	100	100
	一般廃棄物の分別の徹底度	%		100	100	100	100	100	100%	○	100	100	100
環境に配慮したサービス	低騒音型機器の使用率	%		95	100	100	96	100	104%	○	97	97	97

・ 8件の環境目標の内、6件で達成をすることができました。

・ 電力のCO₂排出係数は関西電力の2019年度調整後排出係数の0.318kg-CO₂/kWhを使用しています。
ガソリンのCO₂排出係数は2.32kg-CO₂/ℓを使用しています。
軽油のCO₂排出係数は2.58kg-CO₂/ℓを使用しています。

・ 弊社では従来より、対象の化学物質を含む製品は取り扱っておりません、また今後も使用する予定が無いため、目標を設定しておりません。
・ 100%以上：○、90%以上：△、90%未満：×（是正処置が必要）

5. 主要な環境経営活動計画の内容及び取組結果の評価（2023.3～2024.2）

区分	取組	主な取組み	取組み結果の評価	次年度の取組み
電力使用量の削減	本社・東京支店	1.冷・暖房時の適切な温度管理 2.空調機のフィルターの清掃/月 3.不使用時の消灯 4.部分消灯 5.節電シールの貼付け	1～5 の各取組はほぼ定着し、継続できている。 猛暑が続く、社員の体調管理も行う必要がある中、冷房の使用抑制という面への取り組みは難しいと感じた。その中でも結果を残すことができた、また今年も社員への清涼飲料水の配布を行うことで、熱中症者も発生しなかった。	熱中症対策との両立 換気など衛生面との両立 活動を継続のこと
軽油・ガソリン使用自動車の燃料の削減	各現場及び営業先	1.運転日報を基に、目標設定のためのデータを収集。 2.車載重量削減の呼びかけと、安全運転に繋がる新ドライブレコーダー導入の検討。	運転日報及び車載重量削減活動継続中。 『ゆっくり発進・ゆっくり停車』による事故撲滅と低燃費走行を継続し、燃料使用量、燃費とも更に改善した。前回の課題でありました新しいドライブレコーダーの入替を実施し、安全運転の徹底・並びに環境に配慮した運転を徹底することができた。	安全走行の継続、高圧洗浄機の適切なメンテナンス 並びに環境に配慮した運転を徹底する
上水使用量の削減	本社・東京支店	1.節水シールを貼る 2.出しっぱなしにしない 3.洗浄の際、洗剤を適正使用する	1～3 共、取組継続中。節水の意識は浸透しており、残業の削減を前回より意識して行うことにより、衛生面への配慮も意識して行うことができた。	活動を継続のこと
コピー用紙の使用量の削減	本社・東京支店	1.印刷、コピー用紙の両面刷り 2.コピー用紙の裏面利用 3.コピー対象物・枚数の事前確認 4.注意事項の貼付け等	シャチハタクラウド（電子印鑑システム）、LINEWORKS（グループウェア）、ミナジ（クラウド勤怠管理システム）等の継続利用に加え、Kintone（緊急対応履歴管理）を導入し、以前は紙で発行していた指示書を PDF 出力し、データ共有を行うことで、ペーパーレスへの取り組みを継続できた。	ペーパーレス化を更に推進 活動を継続のこと
廃棄物分別の徹底	一般廃棄物（事業所） 産廃（建設現場）	1.分別表示をして分別を徹底する。 2.購入先に簡易包装・返却を依頼する。 3.月4回以上実施状況を確認する。	今期も各部署の係長、主任を中心に、毎週コンテナ内片付けを行い、分別状況や廃棄状況を自ら確認し、状況の社内周知を継続している。 コンテナ内に空き缶や一般ゴミの混入はほとんど見られなくなった。	活動を継続のこと
環境に配慮したサービスの提供	本社	1.排水管清掃時における、低騒音型機器の使用比率の向上	今期も記録を取り、2020 年 10 月末に老朽化した高圧洗浄機を低騒音型の物に買い替え、以降全ての高圧洗浄機が低騒音型となった。	活動を継続のこと

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の主な環境関連法規

分類	法規制名	遵守すべき要求事項
振動	振動規制法	・ 法第 4 条 1 項に遵守 自主基準として敷地境界線において夜間 60～昼間 65db を上回らないよう配慮する。
騒音	騒音規制法	・ 法第 5 条 1 項に遵守 自主基準として敷地境界線において夜間 50～昼間 65Db を上回らないよう配慮する。
大気	自動車 NO x ・ PM 法	・ 法第 4 0 条 1 項に遵守（適合車両の使用）
廃棄物	廃棄物処理法	・ 法第 2 1 条 3 項に遵守 ・ 産業廃棄物の発生から最終処分まで適正処理が行われるよう必要な処置を講ずるよう努める （マニフェスト管理の徹底等）マニフェスト交付状況報告書を提出。
		・ 法第 2 1 条 3 項に遵守 飛散、流出、地下浸透の防止等
地球温暖化対策	フロン排出抑制法	・ 法第 1 9 条 1 項に遵守 ・ フロン類が充填されている第 1 種特定製品の廃棄 ・ 3 ヶ月に一回以上の機器の簡易点検の実施 ・ 記録の保管の実施 ・ 機器廃棄後 3 年間の保管
市条例	西宮市環境基本条例	・ 法第 5 条 1 項～3 項に遵守 （廃棄物の発生抑制等に係る措置及び地球温暖化対策の推進）

『環境関連法規等の遵守状況の評価の結果』

環境関連法規への違反はありません。

環境関連訴訟等や、関係当局よりの違反等の指摘も過去 3 年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

弊社がエコアクション 21 環境経営システムに取組み、13 期目を終わりました。

働き方改革に伴い、前期から継続して「業務効率化」への意識を社員全員に浸透させてきました。

『作業の空き時間を活用した社内パソコンへの遠隔接続システムの導入』『緊急対応履歴の共有』『直行直帰の奨励』『残業ゼロの推進』など、徹底的に効率を重視し、従来の業務体系を大きく転換することに注力しました。

また前期同様事務処理業務を、現場の空き時間を利用して行うことで、帰社後の事務処理業務の削減を図ることで、残業時間の削減にもつながり、環境活動にも効果があったように思われます。

新たな取り組みを行うことで、戸惑う社員もいましたが、徐々に社内にも浸透していき、最終的に残業時間を大幅に削減することができ、社員が家族と過ごす時間が増え、ストレス軽減や時短など時代の要請に応えながら、業務効率化＝利益率改善を達成できたことは評価に値すると考えております。

さて、各活動内容と結果につきましては、前回同様多くの目標を達成することができました。しかし、この社会情勢の中、一つ間違えば社員の安全はおろか、会社の存続も危ぶまれる時代です。幸いにも弊社は人々の生活に必要なライフラインの維持管理に関わる仕事をさせて頂いており、大きく業績を落とすことなくここまで来ております。

その状態に甘えることなく、常に新しいことに取り組み、新しいアイデアやテクノロジーを活用しつつも、決して『まごころスイカン』という基本を忘れず、地域のお客様に安定したサービスを提供しお客様に愛されていくことこそが、不安に包まれるこの時代に求められる『環境経営』の本質なのではないかと考えます。

担い手不足や、物価高騰など不安要素の多い時代ではありますが、今後も社員と心をひとつに、力を併せてこの荒波を乗り越え、前進し続けたいと思います。

- ・環境方針 変更なし。
- ・環境経営目標計画 変更なし。
- ・実施体制 変更はなし。

2024 年 4 月 15 日
株式会社 スイカン
代表取締役 松本雅稔